

分団紹介

第12分団

私たちは、塚原・阿倍野地区を管轄している、平均年齢28歳と、若いフレッシュな分団です。団員同士が幼い頃からの知り合いで、皆兄弟のような付き合いをしています。活動は厳しく、時には楽しく、「絆」を大切に活動しています。



第13分団

私たちは、市山・三ツ谷地区を管轄し、現在24名で活動しております。伝統ある消防団の維持・向上と新しい考えを融合し、地域に密着した活動を全団員で務めております。



第14分団

私たちは、笹原地区から国道1号線箱根方面の広い範囲を、現在10名で守っています。防災訓練などを通じて、地域の方々の信頼に応えられるよう頑張っています。



今後の主な行事

- 平成22年12月29日(水)～1月3日(月).....年末年始特別パトロール
- 平成23年 1月 9日(日).....消防出初式 市役所駐車場
- 平成23年 2月27日(日).....春の防火パレード 市内各所巡回

編集部員紹介

| | | | |
|---------|-------|------------|-------|
| 団本部 副団長 | 神尾 昭司 | 第1方面隊 1分団 | 木島 忠志 |
| 本部部長 | 風間 浩 | 第2方面隊 5分団 | 郡山征一郎 |
| 本部部長 | 鈴木 弘浩 | 第3方面隊 10分団 | 黒澤 和美 |
| 女性団員 | 三浦 玉貴 | 第4方面隊 14分団 | 橋本 泰洋 |
| 女性団員 | 古川真由美 | 第5方面隊 18分団 | 杉山 剛生 |

愛せ森和郷土



三島市消防団団長
内野 哲雄

本年四月一日付けで、団長を拝命致しました。

伝統ある三島市消防団の長として身の引締まる思いであります。

現在定員五〇〇名のところ総団員四六一名で活動しており、その内本年度機能別団員制度

(特に平日の日常に発生した災害に対応する為)を導入して二三名入団して頂きました。

消防団は、地域の住民で構成され地域の実情を十分把握しており、

一旦有事の際には即動員力を生かし、災害に対して即対応できる体制をとっています。

我々の一番の懸念である東海地震・東南海地震は三〇年以内には必ず来ると言われています。

阪神淡路大震災等振り返ってみても、消防団・常備消防・自衛防(一般市民)が協力し、

マンパワーを発揮し多くのの人々を救出したと聞いています。

我々も、有事を想定し訓練を重ね、信頼と安心を共有し、家族を守る。地域を守る

この気持ちを強く持つて精進していきたいと思っております。

今後とも宜しく御支援御協力をお願い致します。



▼入退団式



▼ラッパ隊夏祭りパレード



団員募集!!

消防団では仲間を募集しています

お問い合わせ：三島市消防本部・警防救急課消防団係 ☎055-972-5803

発行：三島市消防団広報委員会

6月20日

地震対策訓練



図上演習



対策検討

5月30日

水防演習



倒木除去訓練



積み土嚢訓練

6月～8月

女性消防団児花火指導



「安全に楽しんでね。」



「上手にできるかな?」

ラッパ隊特集 長野県消防ラッパ吹奏大会視察



各地の消防団にはラッパ隊があり、諸行事の時には、国歌や行進曲、ファンファーレ等の吹奏を行っています。隊員は各分団からの参加のため、毎年数名の交代があり、レベルの維持が大変です。また、夏祭り音楽パレードといった本格的な演奏に参加するにあたり、更なる技術の向上を目的として、視察を実施しました。

長野県は、消防ラッパ吹奏の盛んな地として全国的に有名です。大会は審査があり、吹奏技術だけでなく、規律ある動きや吹奏時間も審査対象で、美しい吹奏・一糸乱れぬ動作・入退場の行進とすべてがとても参考になりました。曲目も、知らない曲、ハイレベルな曲に富み、団員や市民の皆さんに聞いてもらえるよう、これからの練習に取り入れ、技術の向上に努めていきたいと考えています。

10月24日

操法大会



**ポンプ車操法の部
優勝
第6分団**

指揮者 山口 裕通
1番員 相田 真
2番員 鈴木 秀和
3番員 窪田 貴紀
4番員 芦川 明久



**小型ポンプ操法の部
優勝
第18分団**

指揮者 高野 誠
1番員 長沢 亮弘
2番員 後藤裕一郎
3番員 田辺 貴久



ポンプ車操法

第6分団
コメント

.....選手から一言.....
・いつもの調子ではなかったが、今までの練習の成果が出て良かった。
・これからも頑張って消防団活動に貢献したいです。
・日頃の訓練を最後まで諦めずにやったので、悔いがなく終わることができました。



小型ポンプ操法

第18分団
コメント

.....選手から一言.....
・練習以上の力が出せた。
・選手以外の団員全員で勝ち取った賞だと思っているので、とても嬉しいです。
・他団員の期待に応えられて嬉しい。
・指導員や他のサポートしてくれた人に感謝したい。